

日の出が丘

【学校教育目標】 本気で学び 思いやりのある子
【重点目標】 主体的に「考動」する子



新年あけましておめでとうございます。
本年も皆様にとってよい1年となりますことを心より祈念いたします。



「大池小学校の課題とその解決のために」

大池小学校長 力石 和彦

冬休み中に、大きな事故等の報告がなく、子供たちが元気に登校してきた姿を見ることができ、大変うれしく思います。やはり学校の主役は子供たちです。元気な声が響き渡り、校舎も喜んでくれるかのようです。

去年は5年生の自然教室と6年生の修学旅行を泊を伴う形で実施することができました。また、たてわり活動を再開しました。児童大集会は、そのたてわり班を活用して、ゲームをしたりクイズをしたりしました。どれも3年ぶりのこととなります。少しずつではありますが、かつての教育活動に近づいてきています。学校からのコロナウィルス感染予防対策の呼びかけに、積極的に協力をしていただけたことが大きな要因の一つと考えています。全国的にはまだまだ予断を許さない状況が続いています。3学期には卒業証書授与式や修了式、6年生を送る会という大切な行事がたくさんあります。新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、引き続き「3密の回避」「手指消毒の徹底」「常時換気」「場に応じた適切なマスクの着用」等、基本の感染予防対策に努めてまいります。改めまして、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

私が赴任してから、始業式や終業式の節目の話では、必ず「読書」に関するものを含めてきました。学校では、学年毎に、宿題にしたり、読み聞かせをしたり、ブックトークをしたりと工夫した取組をしてきました。また、学校便りにおいても読書をする効果や、子供が読書好きになる方法などを紹介してきました。私自身が「読書」に強くこだわっているのは、やはり学校評価アンケートの結果が低いことが大きな要因です。子供たち自身が進んで読書をしていると捉えているのが70%を少し越える程度、保護者のみなさんに至っては、60%弱といったところです。他の質問項目と比較して、明らかに差があるのです。

もう1つの大きな課題は、「主体的な学習」「主体的な行動」ができる子供の割合が低いということです。今年度は、重点目標を「主体的に『考動』する子」とし、主体性を育むことを全職員で共通理解し、進めてきました。学級活動や児童会活動を大きな取組の柱として実践してきました。しかし、こちらも期待するほどの数値に至らなかったというのが現状です（学校評価アンケートの結果に関しては、改めて学校便りを通じてお知らせいたします）。

まだまだ、3学期（あと49日）です。これらの課題を解決していけるよう尽力してまいります。ただ、どちらの課題もすぐに解決できるようなものではありません。子供たち自身が、自ら心のうちにあるエンジンをかけなければ、解決できない課題であると思うのです。イソップ寓話の中に「北風と太陽」という有名なお話があります。北風のように、力業で「本を読みなさい」「自分で考えなさい」と強要して育つようなものでは決してありません。太陽のように、「本を読みたくなるような環境」や「自分で判断しなければならぬ状況」を作りだし、自分から行えるようにしていくことが大切です。

2学期の終業式で、「大池小3つの自慢に『読書』を加え、4つの自慢となるようにしていきます」と大見得をきりました。「主体的に読書する子」を目指し、暖かい太陽の光のような方策を講じながら、日々努力してまいります。1、2学期同様のご支援・ご協力をお願いいたします。